

# 10月8日は…「とよおか家族の日」③

## FMジャングル出演者募集!

### 「家族にメッセージを贈りませんか」

子どもは教育の原点である家庭の中で、信頼や思いやり、家族からの愛情をもった関わりや体験を通して多くのことを学び、社会性をもった自立する子どもへと成長します。

そんな、かけがえのない存在である家族にメッセージを贈る方を募集します。毎日仕事を頑張っているお父さん、お母さん、お子さんがどうの言葉、いつまでも元気でいてほしい、おじいちゃん、おばあちゃんに優しい言葉など、普段面と向かって言えない気持ち、ない気持ちを伝えてみましょう。



### 対象者

市内に在住の方

### 募集期間

7月25日(木)～8月15日(木)

### メッセージ内容

収録1分以内(50～250字程度)

### 収録場所

FMジャングル内スタジオ

### 収録時期

8月1日(木)～31日(土)

### 申込方法

申込書を持参、郵送、またはファックスしてください。申込書は学校等を通して配布する他、市ホームページからもダウンロードできます。

### 申込先

・生涯学習課(〒668-10045 城南町23-6 FAX24-4669)

・FMジャングル(〒668-10031 大手町4-5 アイティ7階 FAX29-0764)

### 「とよおか家族の日」関連事業「東京家族」上映

### 日時

8月18日(日)午後1時30分～4時(午後1時開場)

※引き続き、「ほんとの空」を午後4時40分まで上映

### 場所

市民会館文化ホール

### 入場料

無料(予約不要)

### 《問合せ》生涯学習課

☎23-0341

## みんなで取り組もう

# 豊岡エコポイント⑩

市では、環境行動の成果が形となって表れ、実感できる仕組み「豊岡エコポイント」を実施しています。抽選会や賞品などの情報をシリーズでお知らせします。

《問合せ》環境経済課 ☎23-4480

### 第3回市民エコポイント

#### 抽選会を開催!

6月30日、日高地区公民館で第3回市民エコポイント抽選会を行いました。37の事業者から賞品を協賛・提供していただき、296人の市民の皆さんが参加しました。

今回の目玉賞品「電動アシスト自転車」を見事に引き当てた榊田みらいさん(泉町)。親戚にポイントももらい、抽選に来たとのこと。「欲しかった自転車があったのでうれしー!次は自分で貯めて抽選に行きます」と笑顔で話していました。



▲電動アシスト自転車に笑顔

### エコポイントを

#### 漫画で解説!

昨年7月に始まった豊岡エ



▲漫画の表紙

コポイント制度。市民エコポイントの発行数は3万ポイントを超え、延べ1260人の皆さんが抽選会に参加しました。

抽選会は平成27年3月まで、あと5回実施する予定です。これからも環境に良い行動で、どんどんポイントを集めましょう。

「エコポイントって何?」「どういう仕組み?」という声を聞きます。そこで、漫画による解説本「江古田ハカセのe計画」を、市内在住のペンネーム「沢太郎」さんの協力で作成しました。市役所や公民館に置いており、希望者には、一人1冊に限り無償で配布します。

## 毎月第2水曜日は

# 豊岡ノーマイカーデー

### 6月の結果

・参加事業者数: 15団体  
・個人参加の市民: 0人  
・参加総数: 217人

・二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の削減量: 約500キログラム  
・マイカーを自粛した距離: 2170キロメートル(豊岡-東京間2往復の距離)

※CO<sub>2</sub>排出削減効果は、「燃料消費量(リットル)×ガソリンCO<sub>2</sub>排出係数(1リットル当たり、2.32キログラムCO<sub>2</sub>)と仮定

※燃料消費量は、前提条件をガソリン1リットル当たり10キロメートルと仮定  
※自粛した距離は1人10キロメートルと仮定

◆第2期「豊岡ノーマイカーデー」を実施しています(9月まで)。事業所の方も個人の方も、ぜひ、取り組んでください。企業エコポイント、市民エコポイントの対象です。

### 《登録・報告・問合せ》都市

整備課交通政策係 ☎23-1712

ふるさとづくりのために  
**環境経済に取り組んでいます！**

33



みのある産業株式会社(但東町出合)  
—使用済みの菌床を有効活用したシイタケの栽培—

「環境を良くする事業で経済効果が生まれることにより、環境と経済は互いに発展し合う。」このような環境経済型事業に取り組む企業にインタビューします。

《問合せ》環境経済課経済係 ☎ 23-4480

—豊岡でシイタケ栽培を始め  
たきっかけは？—

当社は、岡山の農機具メーカーです。農業と関わりはありましたが、農業そのものを業務としたことはありませんでした。

しかし、以前から、社長は「農業で人の雇用を生んでいくべき」という信念を持っており、農業には非常に高い関心を持っていました。

そんなところに、偶然、旧但東中学校の施設を使用できる話をもらい、事業化に踏み切りました。



▲栽培中の菌床

—商品の特徴は？—

シイタケ栽培では、害虫対策が必要です。当社では殺虫剤を使わず、捕虫器と虫取り紙で対応しています。

また、当社のシイタケは、他の菌床（おがくずを固めたもの）栽培のシイタケより肉厚で、ポリウムがあります。

—環境経済に関する取組みは？—

菌床シイタケは、菌床に、菌を埋め込んで栽培します。収穫後の使用済みの菌床は、廃棄されるのが一般的ですが、当社では、畜産業者に提供しています。牛舎の敷材として



▲使用済みの菌床

使用してもらい、最終的には堆肥として販売されています。当社では、年間450トンの使用済みの菌床が発生しますが、全て再利用しています。廃棄コストは大きく減り、利益に結びついています。

—現在、特に取り組んでいる活動は？—

最初に述べたとおり、「農業で雇用を生む」という目標に向けた取組みを続けています。農業は、生きたものを扱いますので、業務を標準化することが難しいのです。データを集めながら少しずつマニュアル化を進めています。

さらに、高効率な栽培方法の研究を続けるとともに、シイタケ以外の分野への進出を検討しています。

—今後の事業展開は？—

ここでの仕事をモデルとして、企業によるアグリビジネスの一つの形を作っていくと考えています。

また、認証・認定などの制度も積極的に活用し、商品のブランド化、差別化を目指していきたいです。

※詳細は、問い合わせください。☎ 54-0806

事業承継を考える

日本経済を支える中小企業

4

全国の企業数のうち、中小企業が占める割合をご存じですか？

なんと、中小企業は、全国の企業数の99・7パーセントを占め、雇用者数でも約7割を占めています。言い換えると、日本経済や産業構造を、中小企業が支えています。

ところが、近年、中小企業の廃業率が開業率を上回り、企業数は減少しています。特に、後継者不在での廃業が年々増加しており、「事業承継」の問題が注目されています。

中小企業の盛衰は、将来の日本経済に大きな影響を及ぼすことが、容易に想像できることから、非常に重要な問題であるといえます。

事業承継は、経営者の死亡や相続などのプライバシーの問題や、経営者が実権を後継者へ譲るタイミングなどから、経営者以外の者からは言い出しにくい問題です。

しかし、高度な技術や営業基盤を持ちながら、後継者不在で廃業に追い込まれたり、

株式の分散で会社経営に混乱をきたすケースや、後継者の相続税負担が多額になるなど会社経営に影響を与え、事業の縮小を余儀なくされるケースがあるなど、軽視できない問題となっています。

自身の後継者や10年後、20年後の会社がどうなっているか？など、将来の会社像（事業承継）について、一度考えてみませんか。

もし、後継者・事業承継問題で不安があれば、まずは「豊岡市事業承継支援ネットワーク」に相談してください。事業承継に関する専門家が相談に対応しています。



【豊岡市事業承継支援ネットワーク】

後継者問題による廃業を防ぎ、円滑な事業承継を支援することを目的に、平成24年11月に設置しました。

《問合せ》豊岡市事業承継支援ネットワーク事務局  
(環境経済課内)

☎ 23-4480